

リサーチ・アシスタント（RA）の募集について

龍谷大学では2015年4月より、新たな教育研究組織として、大学付属施設の「世界仏教文化研究センター」を設立しました。本センターは、龍谷大学の建学の精神に基づき、仏教を機軸とした国際的な研究拠点を形成し、学術研究の遂行を通じて現代世界の切実な諸課題に応え得る指針を提示することによって、社会への貢献という高等教育機関に与えられた重要な使命の一端を担うことを目的としています。

世界仏教文化研究センターは、基礎研究部門・応用研究部門・国際研究部門の三部門からなります。この度、基礎研究部門の運営や研究活動に貢献できる若手のリサーチ・アシスタント（RA）を下記のとおり募集いたします。

記

- 1 募集人数 リサーチ・アシスタント（RA）（基礎研究部門）1名
- 2 任用期間 2023年4月1日（予定）～2024年3月31日まで（さらに2年を限度として更新することができます（最長2026年3月31日まで）。ただし、就任以前に学校法人龍谷大学と契約している他の職種の雇用期間を含め連続して5年を超えることはできません。）
- 3 職 務 本学専任教員の指示のもとに研究補助者として従事する。職務内容は、高度な専門性を用いた以下の業務です。
 - ・ 高度な分析・解析等を含む各種資料・データ等の収集・記録・管理
 - ・ 研究センター・研究グループ内、外部協力者等との連絡調整・研究グループの研究活動状況管理
 - ・ 研究会・シンポジウム・調査合宿等の調整・広報・運営の企画補助
 - ・ 備品、研究費等の管理補助・アルバイトの管理補助・報告書等作成補助
 - ・ 外国語資料の翻訳・通訳
 - ・ その他リサーチ・アシスタントに係る業務
- 4 勤 務 地 龍谷大学 世界仏教文化研究センター（大宮キャンパス白亜館）
〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1
- 5 勤務時間等 勤務時間 週18時間以内（1日7時間を上限）
出勤日は研究部門長と相談の上決定しますので、毎週18時間の勤務があるとは限りません。
給与は時給制です。1時間3,000円。
交通費：1ヶ月3万円を上限（ただし、本学学生で定期を所持している場合には支給しません）。
- 6 応募資格 * 大学院博士後期課程レベルの学修に必要となる能力を有し、従事する業務に係る高度レベルの専門性を有する者（大学院研究科博士後期課程に在籍する学生も可）
* 仏教研究に従事する若手研究者で、基礎研究部門の職務に専従できるものが望ましい。
* 本センターは国際的な研究ネットワークの構築と国際的な研究発信に重点を置いているため、情報発信のために必要な外国語能力及びコンピュータ操作能力、プロジェクトやユニットに関わる業務処理能力を有する者。
- 7 提出締切 2022年12月2日（金）書留郵送にて必着。
- 8 必要書類 応募のために提出された書類は返却いたしません。予めご了承ください。
①履歴書（写真添付のこと）【本学所定様式】
②研究業績書【本学所定様式】
③各種スキルについての確認シート【本学所定様式】

※外国語能力、コンピューター操作能力(ワード、エクセル、パワーポイント、ホームページ管理)、職務に関する実務経験について客観的に分かるように明記してください。

④主要研究論文1篇

⑤推薦書

※推薦書のみ e-mail での提出可。ただし、PDF 形式または送信履歴などにて推薦者本人の署名が確認できるようにすること。

⑥在学証明書

⑦成績証明書[修士課程]

※⑥、⑦の書類については、大学院研究科博士後期課程在学学生のみ要提出。

9 提出先 〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125-1

龍谷大学 世界仏教文化研究センター事務部

世界仏教文化研究センター「RA」係まで(書留郵送にてお願いします。)

10 選考方法 当センター運営委員会による書類選考。書類選考通過者には、面接を実施します。

※ 面接日は、12月19日(月)を予定しています。

オンライン開催。

*お問い合わせについては、下記の e-mail アドレスまでお願いします。

龍谷大学 世界仏教文化研究センター事務部 RA 採用担当者

e-mail: cswbc@ad.ryukoku.ac.jp

11 その他

<世界仏教文化研究センターの概要>

世界仏教文化研究センターは基礎研究部門・応用研究部門・国際研究部門の三部門で構成され、相互に有機的な連携をとりつつ研究を推進していく。

1) 基礎研究部門(教義的・歴史的・文化学的・文献学的研究)

教理・教学研究、歴史文化研究、本学貴重書他各地の写本・古文献などの研究を進める。恒常的な5研究班と時限的な特定公募研究を設ける。

①「親鸞浄土教総合研究班」

②「西域総合研究班」

③「古典籍資料総合研究班」

④「大蔵経総合研究班」

⑤「仏教史・真宗史総合研究班」

⑥「特定公募研究」

2) 応用研究部門(社会的諸課題への応答・仏教の現代的意義の追究)

仏教思想を基盤として、現代世界の苦悩に向き合い、仏教教学を応用し、社会の困難を和らげることに繋がる実践を産みだす研究に従事する。現代世界において仏教が貢献しうる課題には、教育、医療、ビハーラ活動、グリーンケア、人権擁護、非暴力と平和な世界の構築、生命倫理、環境保護などがある。恒常的な1研究班と時限的な萌芽の公募研究を置く。

3) 国際研究部門(国際的な発信と研究者交流)

仏教文化研究所特別指定研究「仏典翻訳部」の事業を継承しつつ新たな構想のもとに仏典・仏教書の翻訳・出版を進める。Journal of World Buddhist Cultures(JWBC)の刊行などを通じて世界仏教文化研究センター全体に関わる国際的な発信機能を担うとともに、国際シンポジウム開催や外国研究者招聘に係るロジスティクスをも担当する。また、海外諸宗教研究機関と連携して共同研究や宗教間の対話を推進する。国際性を備えた若手研究者の育成と国際的な研究者交流を推進する部署として、世界仏教文化研究センター国際化のコアに位置づける。

以上